

世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数によると、パキスタンの経済参加と機会における順位は146カ国中145位です。しかし、同国におけるポリオワーカーの3分の2を女性が占めています。

文化的規範のため、多くの場合、男性はほかの人の家に入ることが許されません。女性たちは戸別訪問を通じて信頼関係を築き、地域社会に影響を及ぼすポリオやそのほかの健康問題について信頼できるアドバイスを提供しています。

女性ワクチン接種ワーカーの活動は簡単なものではなく、安全でもありませんが、ポリオを根絶するために極めて重要となります。

現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの二カ国のみです。私たちには、ポリオ根絶に必要な知識とツールがあります。ロータリーと共にポリオをなくすために、ご支援を何とぞお願い申し上げます。



年次報告 2022-23年度

国際ロータリー
ロータリー財団

ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION

ロータリー行動計画



より大きなインパクトをもたらす

行動を起こす人として、私たちは証拠に基づいてプロジェクトを定義、測定、分析することで、リソースを効果的に使用し、有意義かつ持続的な好ましい変化をもたらします。



参加者の基盤を広げる

私たちは力を合わせることで、より大きな成果を上げます。また、私たちの価値観を人びとと分かち合い、ロータリーを体験できる新しい方法を生み出すことで、私たちの能力は大きく広がります。



参加者の積極的なかわりを促す

有意義な体験や、人脈づくり、スキル向上、社会奉仕の方法を人びとに提供することが、ロータリーに入会し、活動を継続する理由となります。



適応力を高める

私たちは、変化する世界に素早く適応し、地域社会、クラブ、会員の重要なニーズに応えるために、革新的で新しい視点を取り入れています。

2022-23年度国際ロータリー理事会

会長

ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)

会長エレクト

ゴードン R. マッキナリー (スコットランド)

副会長

ニッキー・スコット (英国)

財務長

アナンサナラヤナン・ベンカテシュ (インド)

RI理事

アルベルト・チェッキーニ (イタリア)

パトリック・チサンガ (ザンビア)

ジェシー・ハーマン (オーストラリア)

ジェレミー・ハースト (ケイマン諸島)

ドリユー・ケスラー (米国)

ムハンマド・ファイズ・キドワイ (パキスタン)

ウォン・ピョー・キム (韓国)

ウルス・クレム (スイス)

マヘシュ・コタバギ (インド)

パトリア・メリーウェザー-アルジェシ (米国)

レナ J. マイアスコグ (ノルウェー)

ビッキー・ピュリッツ (米国)

佐藤芳郎 (日本)

フリオ・セザール A. シルバ・サンティステバン (ペルー)

エリザベス・ユースピッチ (米国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)

2022-23年度ロータリー財団管理委員会

管理委員長

イアン H.S. ライズリー (オーストラリア)

管理委員長エレクト

パリー・ラシン (バハマ)

副管理委員長

ラリー A. ランスフォード (米国)

管理委員

ホルヘ・アウフランク (グアテマラ)

マルセロ・ディミトリオ・ハイク (ブラジル)

マーサ・ピーク・ヘルマン (米国)

ホルガー・クナーク (ドイツ)

シュウ・ミン・リン (台湾)

マーク・ダニエル・マローニー (米国)

ギータ K. マネク (ケニア)

アジズ・メモン (パキスタン)

三木明 (日本)

バラート S. パンディア (インド)

グレッグ E. ポッド (米国)

ディーン・ロース (カナダ)

事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)



100%再生紙を使用
FSC®認定
Preferred by Nature™認定
バイオガスエネルギー使用
塩素加工無使用
古代・絶滅危惧植物の繊維不使用
大豆原料インク使用

私たちロータリーは、より良い世界を追求する前向きで
持続可能な明るい未来を築くことができると確信しています

ロータリーのリーダー



この年度、私たちはロータリーのあらゆる可能性と未来と一緒にイマジン（想像）しました。

それは、会員のための居心地のよさと配慮の重要性を確認し、勇敢で共感力のあるリーダーシップの力を示すことから始まりました。その方法のひとつが、「世界を変える行動人：インクルージョンの推進者」として6名のロータリー会員を表彰することでした。表彰されたこれらの方々は、すべての人がロータリーで自分の居場所を見出し、寛容と尊敬の心を育むために団結することで、何が可能になるかを示してきました。また、ロータリーが実施した2回目のアンケート調査で、約53,000人のロータリーの現会員と元会員に、多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）についての考えや経験について意見をお寄せいただきました。ロータリーは、この結果をもとにアプローチを強化し、前進するための指針とします。

また昨年度には、災害救援基金の力をかたづけたいほど実感したことにも言及したいと思います。ロータリー財団は、パキスタンでの洪水、ウクライナでの戦争、トルコとシリアでの震災の被災者を支援するための基金を設置しました。全体で、自然災害や紛争後の支援として、1,480万米ドルの災害救援補助金を提供しました。

また、ポリオ根絶に対するロータリーの歴史的なコミットメント、そして疾病予防と公衆衛生への数十年にわたるコミットメントに基づき、大規模プログラム補助金の新たな受領プロジェクト「United to End Cervical Cancer in Egypt」（エジプトにおける子宮頸がん撲滅のための結束）が選ばれました。このプログラムは、女兒へのHPVワクチン接種を奨励し、女性のための検診を促進し、子宮頸がんの予防方法についてカイロ周辺での認識を高めることによって、子宮頸がんの患者数を減らすことを目的としています。

さらに、大規模なプロジェクト、奨学金、職業研修チームを支援するため、1,092件のグローバル補助金を提供しました。

そして、ポリオの根絶がロータリーの組織としての第一の責務であることを忘れてはなりません。ロータリーは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との長年にわたるパートナーシップを更新し、世界的なポリオ根絶活動を支援するため、最大4億5,000万米ドルを協同で拠出することを発表しました。また、ベルリンでの世界保健サミットとグローバルシチズンのライブイベントで、ポリオ根絶のための寄付1億5,000万米ドルを誓約しました。

ロータリーは今年度、合計4億2,700万米ドルを集めました。

皆さまのご支援とご活動のおかげで、私たちは、より良い世界を追求する前向きで持続可能な明るい未来を築くことができると確信しております。

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度会長
国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー
2022-23年度管理委員長
ロータリー財団

1年を振り返る



ジェニファー・ジョーンズ会長は、ロータリー初の女性会長として（しかし最後ではありません）、歴史にその名を刻みました。ジョーンズ会長は任期を通じて、ロータリーをイマジン（想像）し、現在のロータリーを土台に将来どのように発展していけるかを考えるよう会員に呼びかけました。ローターアクター、特定のスキルをもつ会員、パストガバナーを会長代理に任命し、地区大会の参加者を新しい方法で鼓舞し、意欲を高めるよう努めました。



6名のロータリー会員が「世界を変える行動人：インクルージョンの推進者」として表彰されました。表彰された方々は、すべての人がロータリーで自分の居場所を見出し、寛容と尊敬の心を育むために団結することで、何が可能になるかを示してきました。



トルコのイスタンブールにあるパーチェシヒル大学に、最新のロータリー平和センターが設置されることが発表されました。新しいセンターは、中東または北アフリカにおける平和構築の取り組みを専門とするフェローのために、平和と開発研究における1年間の専門能力開発修了証取得プログラムを提供します。



世界ポリオデーには、世界118カ国のロータリークラブが、地域社会でポリオ根絶に対する認識を高めるためのイベントを開催しました。また、世界保健機関（WHO）と協力し、「World Polio Day and Beyond」（世界ポリオデーとその先）のフォーラムを開催し、医療専門家や世界のリーダーたちが、世界中の人びとの健康改善を目指し、ポリオ根絶、母子保健、地域社会に根ざした解決策について話し合いました。



シルビア・ウィットロック・リーダーシップ賞の受賞者として、呂錦美さん（台湾、台北台美ロータリークラブ）が選ばれました。ロータリー初の女性クラブ会長の名を冠したこの賞は、ロータリーで女性の活躍の促進に積極的に尽力した1名のロータリー会員を称える賞です。



ロータリーはポリオ根絶に向け、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との長年にわたるパートナーシップを更新し、世界的なポリオ根絶活動を支援するため、最大4億5,000万米ドルを協同で拠出することを発表しました。また、グローバルシチズンのライブイベントで、ポリオ根絶のための1億5,000米ドルを誓約しました。



多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の取り組みの一環としてロータリーが実施した2回目のアンケート調査で、約53,000人のロータリーの現会員と元会員が、DEIについての考えや経験について意見を寄せました。ロータリーは、この結果をもとにアプローチを強化し、前進するための指針とします。



ロータリー財団は、パキスタンでの洪水、ウクライナでの戦争、トルコとシリアでの震災の被災者を支援するための基金を設置しました。全体で、自然災害や紛争後の支援として、1,480万米ドルの災害救援補助金を提供しました。



5回にわたるウェビナーシリーズでは、大きなインパクトをもたらす奉仕活動を会員が立案・実施できるよう、プロジェクトの計画、リソースの確保、若いリーダーとの協力、プロジェクトの推進、成果の測定に関する方策が紹介されました。



2023年度大規模プログラム補助金（200万米ドル）の受領プログラムとして、United to End Cervical Cancer in Egypt（エジプトにおける子宮頸がん撲滅のための結束）が選ばれました。このプログラムは、女兒へのHPVワクチン接種を奨励し、女性のための検診を促進し、子宮頸がんの予防方法についてカイロ周辺での認識を高めることによって、子宮頸がんの患者数を減らすことを目的としています。



サーファーの親睦活動グループ (Surfers Unite Rotarian Fellowship) のメンバーは、地域社会、環境、サーフィンに情熱を注いでいます。親睦活動を通じてこの三つを組み合わせ、忘れられない体験をすることができます。

毎年恒例の清掃活動「Cupid's Clean Up」では、グループのメンバーが地域社会の水辺からゴミを撤去します。ハワイのビーチからオーストラリアの海岸沿いまで、会員は友人や家族、近隣クラブに呼びかけ、地元的环境を守るために行動しています。

また、より多くの人にサーフィンを紹介するため、地元の団体とも協力しています。2017年以降、米国カリフォルニア州のメンバーは、サーフィンをより身近でインクルーシブなものにするために、アダプティブ・サーフボードやビーチ用車椅子を推進する非営利団体「Life Rolls On」でボランティア活動を行っています。

この親睦活動グループでは、交流行事とボランティア活動が成功の鍵となっています。これらの行事は、会員が奉仕を行い、親睦を深める機会となるだけでなく、ロータリーがどのような活動をしているのかを人びとに知ってもらい、若い人たちを惹きつける素晴らしい方法でもあります。同グループには、世界36カ国のロータリアン、ローターアクター、インターアクターが参加しています。



12,903

ロータリー地域社会共同隊

地域社会のニーズに応えるために、ロータリー会員とそれ以外の人たちが協力して活動しています。

26

ロータリー行動グループ

共通の専門知識・スキルを生かして好ましい変化をもたらしています。

108

ロータリー親睦活動グループ

同じ情熱や職業をもつ参加者同士がつながり、奉仕することを目的として活動しています。

234,486

新たなロータリー
入会者

1,623

新たに設立され
たロータリークラ
ブ/ローターアクト
クラブ

132万

48,000クラブに所
属するロータリー
会員数

2023年7月1日現在



Madras Eliteロータリークラブ（インド、タミル・ナードゥ州）の会員は、トランスジェンダーの人たちの個人的、職業的、経済的な状況を理解しています。

トランスジェンダーの会員から成るインド初のクラブとして、このクラブは、多くのトランスジェンダーの人びとが直面する問題についての認識を高め、家を出なければならなくなった人びとを助け、いじめを防止することに重点を置いています。会員たちは、小学生を対象としたオンライン・ワークショップを開催し、トランスジェンダーの人たちへのサポートを呼びかけています。トランスジェンダーの人びとが国民IDカードを取得し、銀行口座を開設したり、投票したり、政府の援助や医療を利用したりするのに必要な書類を準備できるよう支援しています。

このクラブは、トランスコミュニティの成功者たちのポートレートを展示するとともに、トランスジェンダーの人びとが直面する課題についてのドキュメンタリーを制作することを予定しています。

寄付する理由

「私たちがロータリー財団を慈善団体として選んだ理由は、ロータリー会員が世界中で行っている素晴らしい活動によって、私たちの寄付が活かされるからです。これらの活動は、国連の『持続可能な開発目標』に沿った七つの重点分野で実施されています」

アレクサンダー・フォーク、ノラ・フォーク
米国
アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員長サークル）、
レガシー・ソサエティ



「ロータリーを通じて達成された多様なグローバルプロジェクトを見ると、私たちも嬉しくなります。私たちは、ロータリー財団の堅実な資金管理を信頼し、ロータリーの誇りある会員として、ロータリー財団を通じて社会に恩返しをしています」

マンロン・ポール・イエク、サラ・ケイアイ・ローマカオ
アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員長サークル）、
遺贈友の会（レベル3）

「与えることで私たちはより充足し、より完全なものになり、達成感を得ることができます。それは生きる目的を与え、尊厳ある人生を送る助けとなります」

ディーパク・グプタ、
レーナ・グプタ
インド
アーチ・クランフ・ソサエティ
（管理委員会サークル）



「貧困をなくすためには、安全な水と教育が重要な要素だと考えます。ロータリー財団のグローバル補助金の支援を受けることで、これらの目標を達成することに期待しています」

大倉崇、龍子
日本
アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員会サークル）



「私の3人の子どもは全員学業を終え、それぞれの道を選びました。ほかの人たちにもチャンスを与えるのがフェアだと思い、私が最も信頼を置いているロータリー財団を選び、『地域社会の経済発展』の重点分野を支援することにしました」

ロベルト・ピンチョーネ
イタリア
メジャードナー（レベル3）、
遺贈友の会（レベル4）



「ロータリー会員として、ロータリー財団の理念を支持し、『世界でよいことをしよう』という理念を実践したいと考えています」

ジョニー・リー
台湾
アーチ・クランフ・ソサエティ
（管理委員会サークル）

寄付する理由



「私たちはロータリーから、与えた以上のものを受け取ってきました。ロータリー財団を通じてレガシーを残すことで、私たちが世を去った後にもロータリーの活動が続くことになります。私たちがロータリーの未来の一翼を担えると思うと、胸が高鳴ります」

ロバート A. ウォレス、
キャサリン E. ウォレス

カナダ

アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員会サークル）、
遺贈友の会（レベル1）



「私たちがロータリー財団を支援する理由は、世界中の人びとの生活を変えるプロジェクトに寄付が役立てられているからです。これらのプロジェクトは、健康と教育を促進し、貧困を緩和し、無限のインパクトを生み出しています。小さな行動でも大きな変化をもたらすことができます」

エルミニオ S. エスグエラ、
ジョイス・ミシェル L. アンブレイ

フィリピン

アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員長サークル）

「私は、幼い頃に自分自身に誓った『生命を支える草の葉のようになり、人びとのために変化をもたらすことができるようになる』という誓いを果たすことに力を入れています。ささやかな寄付が地域社会の成長と発展をもたらしており、私たちはロータリーの標語である『超我の奉仕』を実践しているのです」

ヘイ・ジン・シン、ヨン・キュー・シン

韓国

アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員長サークル）、
遺贈友の会（レベル1）



「単独で行動する場合、その効果には限界があります。ロータリー財団のおかげで、私たちの人道奉仕はより効率的なものとなります」

パトリック・メネソン

ガボン

アーチ・クランフ・ソサエティ（管理委員会サークル）



「私の寄付や、ほかの多くの人たちの寄付が一つの力となって、世界に希望を生み出していることを嬉しく思います」

ブルーナ・ドダロ

ブラジル

遺贈友の会（レベル6）

2,600万ドル

地域社会のニーズに対応し、奨学金、青少年プログラム、職業研修チームの資金とするために提供された、473件の地区補助金の総額

5,500万ドル

大規模なプロジェクト、奨学金、職業研修チームを支援するために提供された、1,092件のグローバル補助金の総額

1,480万ドル

災害後の緊急対応、短期的支援、長期的再建を行うために提供された、324件の災害対応補助金の総額

2023年7月1日現在
通貨はすべて米ドルです



気候変動により、オーストラリアでは山火事の時期におけるリスクが増し、住民に危害がおよぶ危険性が高まっています。山火事がもたらす壊滅的な被害を経験した Taree on Manning ロータークラブ（ニューサウスウェールズ州）の会員は、地域社会の備えを強化することを決意しました。

このクラブは、取り組むべき四つの課題を特定し、援助国側提唱者の Windsor-Roseland ロータークラブ（カナダ・オンタリオ州）と協力して、ボビンとカパラの山火事防止プロジェクトのためのグローバル補助金を確保しました。

このプロジェクトは、緊急時に水がすぐに利用できるよう、ボビンとカパラの地域社会に10万リットルのタンクとその他の設備を提供しました。会員はまた、補助金を活用して緊急避難所となるボビンのコミュニティセンターにスプリンクラー・システムを追加し、火災の危険レベルを正確かつタイムリーに知らせる自動標識を購入しました。このプロジェクトはまた、地元消防署による訓練にも資金を提供し、これにより約100人の地元ボランティアが山火事への認識向上、準備、火災発生時の対応について学びました。





インターアクトでは、12歳から18歳までの青少年がリーダーシップのスキルを磨き、地域社会での奉仕を実施・支援しています。インターアクターは、奉仕への熱意と情熱を、変化をもたらす以下のようなプロジェクトに注いできた長い歴史があります：

パナマのPenonoméインターアクトクラブの会員は、ロータリアンやその他のボランティアとともにの海岸からゴミ袋20袋分のゴミを撤去しました。この海岸はレクリエーションエリアとなっており、絶滅の危機に瀕している数種の動物が生息しています。

フィリピンのMetro Mandaue 2006インターアクトクラブは、超大型台風オデットの発生後、大規模な救援活動を行いました。クラブ会員は、ソーシャルメディアを利用して被災状況に対する認識を高め、非営利団体や企業に援助や寄付を求め、ロータリアンと協力して募金活動や寄付を行いました。また、1,000世帯以上に食糧、衛生キット、医薬品、飲料水を配布しました。



ネパールのGolden Gate International Collegeインターアクトクラブは、障がい者への認識を高め、偏見をなくすために卓球の試合を企画し、障がい者を招待しました。このイベントは、多様性、公平さ、インクルージョンのテーマを統合したことから、三つの聖なる川の合流点にちなんでトリヴェこと名付けられました。

60

インターアクト創設60周年

315,000

13,811のクラブで活動するインターアクト会員の数(推定)

303

2022年インターアクト賞への応募数(三点の受賞作品が選ばれ、プロジェクト資金が授与される)

アーチ・クラフ・ソサエティ

2022-23年度の新規およびレベルアップしたAKS会員 (敬称略)

財団サークル

(1,000,000～2,499,999ドルのご寄付)

Glen C. Brandon and Ruth Brandon, United States
Paul F. Bride, United States
Rajesh and Seema Gupta, India
Michael S. and Gity S. Hebel, United States
Richard C. Courson and Tina N. Tom, United States
William W. and Jean D. Wilson, United States
匿名 (2)

管理委員長サークル

(500,000～999,999ドルのご寄付)

Joyce Michelle L. Ambray and Herminio S. Esguerra, Philippines
Helge Andersen, Denmark
Ronald J. and Marilyn K. Bedell, United States
William Bittenbender, United States
Navdeep and Amita Chawla, India
Robert T.H. Chuang and Yuan Chen, Taiwan
Jim and Nancy Crim, United States
Nitin and Meena Desai, India
Tom and Jill Duerig, United States
Gloria Ann and Carl C. Evans, United States
Alexander and Nora Falk, United States
David Gibson-Moore, United Arab Emirates
Nirupama and Anil Goel, India
Barbara J. Jay, United States
Ku, Kyo Un and Jeong, Hwa Ja, Korea
Ko-Chu Lee and Hui-Chen Wu, Taiwan
Robert and Louise Lemon, Australia
Edith J. Lowen, United States
Satish Chand Mark Markanda, United States
V.R. Muthu and Malarvizhi Muthu, India
Owen P. O’Connell and Marge O’Connell, United States
Rick and Nikki Powers, United States
Ramanathan and Nallammai, India
Dilip and Bhavini Shah, India
Hae Jin Shin and Yong Kyu Shin, Korea
Sarah C. Sheehan, United States
William C. “Bill” Slicker, United States
Fong-Chuan Tu and Mei-Chi Chang, Taiwan
S.V. Veeramani and Radha, India

Mildred and York Vitangcol, Philippines
James Vlantis and Sara Ennor, United States
Frank Yih and Nancy Yih, China
匿名 (6)

管理委員会サークル

(250,000～499,999ドルのご寄付)

Ann and Dare Adeyeri, Nigeria
Hansa and Kailash Agarwal, India
Ananth H.R and Girija Ananth, India
J. Randell Barclay and Dianne Richoz Barclay, United States
Eldon L. Bohrofen and Augusta Crane, United States
Jaekyung Byeon and Jonghwan Lee, Korea
Gene and Joanne Cable, United States
Lalit and Richa Chadha, India
Daniel Chang and Sophia Lu, Taiwan
Rajendra and Anne Chetty, Canada
Krishna and Meena Choudhary, India
Paul W. Chen and Salina Chen Lee, Taiwan
Cheng, Chen-Ming and Lin, Shu-Hui, Taiwan
Mary, Yi-Chen Cheng, Taiwan
Wen-Li, Chiu, Taiwan
Thie C.L. Convery, Canada
Stephen Lee Dailey, United States
Steve and Lesley Dakin, United States
Sita Kantha Dash and Kalpana Dash, United States
Tom and Bille Davidson, United States
Milind Desphande and Meera Deshpande, India
Dennis D. and Heidi L. Drager, United States
Bruce and Julie Dunbar, United States
Urum Kalu (UK) and Uganze Eke, Nigeria
Min Young Eom and Seung Rei Park, Korea
Michael Escaler and Patricia Maria Escaler, Philippines
Barbara and Frank Fagan, United States
Fang Chin-Ying, Taiwan
Todd and Karry Fischer, United States
Robert A. Foster, United States
Walter J. Goodwin, Australia
Karlis and Beverly T. Graubics, United States
Beverly P. Grogan, United States
Sanjeevani and Girish G. Gune, India
Mohan and Sangita Gupta, India

Patsy J. Hemp, United States
Susan and Mark Hennenfent, United States
David W. Herbert, United States
Tang-Chih Hsu and Yin-Chen Wei, Taiwan
Eric P.C. Huang and Yun-Chu Chloe Chen, Taiwan
P.H. Huang and Maggie Lai, Taiwan
Shih-Jyi, Huang and Shih-Tzu, Huang Lin, Taiwan
Leigh S. and Helen “Pug” Hudson, United States
J. Richard Hunt and Shirley Hunt, United States
Jeremy and Michelle Hurst, Cayman Islands
Chun-Wook Hyun and Jung-Rhim Oh, Korea
Jonghyeop Hyun and Kyounghee Kim, Korea
石川良興、佳世子 (日本)
Anil Jain and Neha Jain, India
Vijaykumar and Gauri Jatia, India
Guity Javid and Mark Ameli, United States
Peter C. and Carolyn F. Johnson, United States
Charles R. Johnson Jr., United States
Charles Warren and Laura Kann, United States
櫻畑直尚、順子 (日本)
Chunghwan Kim and Soon Young Kim, Korea
Kwang Tae Kim and Juseon Byun, Korea
Sangchul and Jungsil Kim, Korea
Larry Curtis Kubiak, United States
Seung Il Kuk and Ju Hyun Bang, Korea
Shirley M. Kwok, United States
Don “Sparky” Leonard and Laurie Lynn Leonard, Canada
Kim and Jill Lorenz, United States
Warren and Marilyn Lovinger, United States
Nathan G. Lubin and Alla O. Lubin, United States
Amit and Gunjan Lulla, India
Dennis W. Mator and Janine M. Mator, United States
Roger May and Patti Sadowski, United States
Patrick Mennesson, Gabon
Ziegfredo and Ma. Corazon Mercado, Philippines
Kyu Seek Min and Chun Ja Kim, Korea
Don and Cindy Mizelle, United States
Sanjeev Mohindru and Kiran Mohindru, India
Bala and Roma Murthy, United States
Cyndie Mynatt, United States
永田壮一、淳子 (日本)
大倉崇、龍子 (日本)

Gilman Ordway, United States
Anantanarayan and Kathleen M. Padmanabhan, United States
Martha H. Peak and Frank G. Helman, United States
James Campbell Quick and Sheri Schember Quick, United States
P.V. Rai and Sandhya V. Rai, India
Eileen and Robert J. Rau Jr., United States
Charles and Mary Rogers, United States
Robert E. and Olivia A. Ryans, United States
Harish and Bina Shah, India
Hiten and Gopi Shah, India
Dinesh and Rekha Sharma, Singapore
Tony Sharma and Harjinder Kaur Sharma, England
Thomas and Dorothy Sheehan, United States
四宮孝郎、庸子 (日本)
James Sillers, United States
Richard C. Smith, United States
Bong-Rak Sohn and Young-Kyoung Kim, Korea
Carol Sommer, United States
杉川聡、加津子 (日本)
Gina Sy and Jeffery Sy, Philippines
Janet and Kim Tenreiro, United States
Earl F. Tilly and Barbara B. Tilly, United States
Wayne B. Titus III and Melissa A. Titus, United States
Theodora M. Uniken Venema, United States
Carl W. Virden, United States
Robert A. Wallace and Katherine E. Wallace, Canada
Tonya L. Watson and Stephen K. Cervantes, United States
John A. Williams Sr. and Vivian G. Williams, United States
Stanley S.Y. Yang and Jennifer Yang, Taiwan
Yiu Chih Hao and Hsu Li Hua, Taiwan
匿名 (25)

アーチ・クラフ・ソサエティ 名誉サークル

(既存のソサエティ会員による25万ドル以上のご寄付によって認証された方)

Kyle A. Nolf
Carlos E. Sandoval A.
匿名 (1)

レガシー・ソサエティ

ロータリー財団管理委員会は、財団への100万米ドル以上の寄付を誓約した人を称えることを目的としたレガシー・ソサエティの導入を全会一致で承認しました。管理委員会は、個人の遺産計画にロータリーを含め、財団支援の模範を示していただいた方々に感謝いたします。

2022-23年度の新規レガシー・ソサエティ会員 (敬称略)

(100万ドル以上のご誓約)

Sharon Bloodworth, United States
David and Linda Garrison, United States
Susan and Mark Hennenfent, United States
Vaseal V. Montgomery, United States
Martin Resnick, United States
匿名 (3)

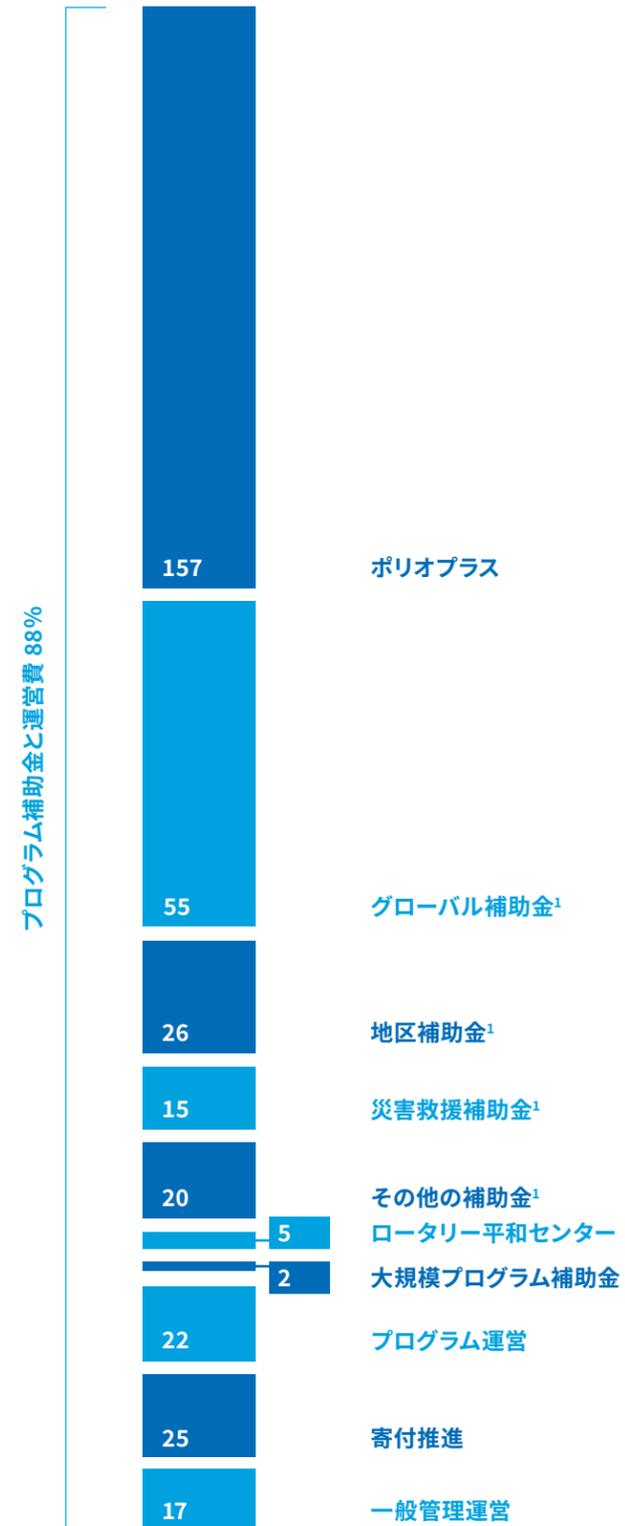
2023年6月30日現在

国際ロータリーの「End Polio Now」のデザインがあしらわれたパキスタンの輸送トラックを見る親子。パキスタン、カラチにて。

財務

ほぼすべての国で活動するロータリーは、慎重に資金管理を行っています。

ロータリー財団の支出： 3億4,400万米ドル



国際ロータリー収支報告

2022会計年度と2023会計年度 (6月期) (単位:千米ドル)

会計年度累計	2022年6月	2023年6月
収入		
人頭分担金	\$82,207	\$84,427
投資純益	(2,395)	1,248
支援業務とその他の活動	26,465	34,930
収入合計	\$106,277	\$120,605
支出		
運営費	\$80,655	\$87,820
支援業務とその他の活動	24,935	32,706
戦略的準備金	1,633	2,421
支出合計	\$107,223	\$122,947
為替差益 (損)	\$(436)	\$(464)
純資産の増減	\$(1,382)	\$(2,806)
純資産 (期首)	\$160,638	\$159,256
純資産 (期末)	\$159,256	\$156,450

ロータリー財団収支報告

2022会計年度と2023会計年度 (6月期) (単位:千米ドル)

会計年度累計	2022年6月	2023年6月
収入		
寄付 ²	\$373,014	\$366,503
投資純益	(63,498)	58,078
金利分割合意とその他の活動 (純額)	(5,570)	2,497
収入合計	\$303,946	\$427,078
支出		
プログラム補助金	\$273,460	\$278,784
プログラム運営費	20,634	21,919
寄付推進	21,264	25,489
一般管理運営	15,076	17,355
支出合計	\$330,434	\$343,547
為替差益 (損)	\$(6,667)	\$(4,025)
誓約未収入のための予備費	\$(1,586)	\$(1,543)
純資産の増減	\$(34,741)	\$77,963
純資産 (期首)	\$1,290,311	\$1,255,570
純資産 (期末)	\$1,255,570	\$1,333,533

1. 返金その他調整後
2. 新たな誓約4,930万ドル、およびポリオプラス基金への繰入金1,210万ドルは含まれない

共に世界でよいことをしよう

重要な目的を推進し、より大きなインパクトをもたらす、会員の積極的参加を引き出し、地域社会のニーズに取り組むため、国際ロータリーは、ロータリーの重点分野と奉仕へのコミットメントを支援する団体と協力しています。

このような世界的な協力関係を通じて、ロータリー会員は、各団体の専門知識、リソース、ネットワークを活用し、地元や海外の地域社会に長期的なインパクトをもたらす有意義な奉仕プロジェクトを実施することができます。

- アショカ
- エレノア・クルック財団
- 教育のためのグローバルパートナーシップ
- 世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) のパートナー団体
 - 世界保健機関
 - UNICEF (国連児童基金)
 - 米国疾病対策センター (CDC)
 - ビル&メリンダ・ゲイツ財団
 - Gaviワクチンアライアンス
 - 各国政府
- ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナル
- 経済平和研究所
- 国境なき調停者団
- 米国平和部隊
- Power of Nutrition
- ロータリー平和センター提携大学
 - チュラロンコン大学
 - デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校
 - 国際基督教大学
 - マケレレ大学
 - ブラッドフォード大学
 - クイーンズランド大学
 - ウブサラ大学
- シェルターボックス
- トーストマスターズインターナショナル
- 国連
- 米国国際開発庁



トルコとシリアを襲ったマグニチュード7.8の地震から72時間以内に、国際的な救援団体であり、ロータリーのプロジェクトパートナーでもあるシェルターボックスが緊急対応チームを現地に派遣しました。

このチームは、ロータリアンやローターアクターと協力し、テント、毛布、マットレス、ソーラーライトを複数県の2,000世帯に提供しました。ロータリー会員は、シェルターボックスのチームを地元の製造業者やサプライヤーに紹介し、支援を最も必要とする地域を特定し、自治体リーダーとの仲介を担い、翻訳・通訳を提供しました。ロータリーとシェルターボックスは、共に変化をもたらす強力なパートナーシップを築いています。